

人とミツバチの出会いをプロデュース

みつばち百花では、ミツバチをテーマにご要望に応じて楽しみながら自然科学を学び、体感できるセミナーや講座などをプロデュースしています。
ミツバチの生態をわかりやすくお話ししたり、楽しいキャンドルづくり、ハチミツのテイスティング「ワインのようにハチミツを楽しもう」、ミツバチと花の関係を知る「ハニーウォーク」などを行っています。
お問い合わせ、ご希望は、事務局までメールでお願いします。(info@bee-happy.jp)



玉川大学の佐々木正己教授を講師にハニーウォーク (2010年9月)

“きゃりーたまたま”って なーんだ？

NPO 法人 いけぶくろ大明、NPO 法人 として NPO 推進協議会主催の「いけぶくろ自然クラブ」で小学生対象のミツバチセミナーを開催。ミツバチの生態をドラえもん風に解説したり、イチゴのキャンドルづくりをしたり。みんなとっても楽しんでくれました。



みんな同じで みんな違う どんぐりキャンドル

国立市立第二小学校では小学5年生を対象に、今年、ミツバチ連続講座を開催。みつばち百花は、蜜蝋キャンドルづくりを担当しました。
ミツバチと花と蜜蝋の関係を説明しながらのどんぐりづくり。たくさんのどんぐりができました。



Bee Happy Strawberry キャンペーン

ミツバチが花の上でくるくる回らないと、かわいいイチゴの形になりません。イチゴは本当は春の果物。でも、クリスマスケーキにも欠かせないイチゴのために、ミツバチがハウスの中で、冬中、受粉をしています。イチゴの花だけで過ごすハウス内では、栄養が偏り、免疫力が低下していき、春を迎えるころには、多くの巣が疲弊してしまいます。
みつばち百花では、そんなミツバチの過酷な労働事情にも思いを寄せてもらおうと、イチゴの蜜蝋キャンドルづくりワークショップも行っています。



どちらのイチゴもミツバチが作っています！



LETTER FROM HONEYBEES

vol.3 2012



あなたの庭に、畑に、里山に
みつばちは来ていますか？

A Thousand of Flowers for Bees

NPO みつばち百花

http://bee-happy.jp/

"Letter from Honeybees" はわたしたち「みつばち百花」から、ミツバチと花と人をつなぐ情報をお届けするニュースレターです。今号は「ミツバチガーデン」特集です。



2012年に始まった、「くにたち蜜源ガーデン」(次ページ参照)

「ミツバチガーデン」って何だろう？

花から蜜と花粉をもらい、代わりに受粉を助けるミツバチ。その力を借りて私たちはさまざまな農産物の実をならせ、種子を得ています。近年、受粉を手助けするミツバチが、北半球を中心に世界的に減少しています。その共通の原因として挙げられているのが資源不足です。日々餌を与え続けて育てる他の動物と違い、ミツバチは、冬を越すためのハチミツを集める蜜源と、日々、女王蜂が産む1000個もの卵を育てるための花粉源の両方がなければやっていけません。都市部だけではなく、開発が進む地方でも、ミツバチのための花は減っています。(ア)

ミツバチを取り巻く問題はもちろんこれだけではありませんが、伝染病や農薬被害など、専門的な問題解決が必要とされるものと異なり、花を育てることなら、私たちも楽しみながらミツバチの役に立てそうです。
とはいえ、花なら何でもいいわけではありません。どんな花をミツバチや他の昆虫が利用できるかの検証は必要です。ミツバチガーデンはそのための場としても役立ちます。各地の成果はNPO法人みつばち百花の蜜源/花粉源データベースに登録され、さらなるミツバチガーデン作りの参考にさせていただけるよう情報発信されています。

くにたち蜜源ガーデン

NPO みつばち百花のミツバチガーデンは、2010年春から、三鷹市のビルの一 corner の二坪の庭を借りて始めた Bee Garden が最初です。国分寺市では野菜を中心に咲かせて、収穫したカボチャでハロウィーンパーティも開催しました。

2010年に、国立市で、NPO 法人くにたち富士見台人間環境キーステーション (KF) 主催、みつばち百花のアレンジによる連続講座「ミツバチがつなぐ夢」まちかど教室が開催されました。これをきっかけに、KF との連携が始まり、2011年には、市内

数か所でヒマワリ、キバナコスモス、ソバを咲かせました。そして、2012年、国立市の350坪の畑で、地主さんを中心に、KFの学生さん、まちかど教室から生まれた市民養蜂家さん、みんなで立ち上げたのが、この「くにたち蜜源ガーデン」です。



暖地では利用性が低いといわれるソバ（高嶺ルビー）も、ガーデンでは秋の人気 No.1.



3月
まっさらの大地。まずはミツバチが大好きなハーブ類を中心に種を蒔きました。緑に覆われ、花が咲くのが待ち遠しい。

5月
少しずつ芽が出てきて、雑草取りなど増えた作業も楽しくなってきました。花が咲く前から次には何を植えようか考えながら ...

作業の合間には、ミツバチの羽音を聞きながら、持ち寄ったお菓子とお茶で一息。おしゃべりも楽しくはずみずみ。

6月
ミツバチも順調に増えつつあり、次々に咲く花を追う“ガーデン特製ハニー”の採蜜を目指して、二人の女性養蜂家は大忙し！

白いルッコラの花が満開！ミツバチがたくさん来てくれました。花を食べてみたら、甘い！そんな発見もこの畑があればこそ。

7月
青いダイヤ、ポリジの花が満開に。ゼラニューム、カモミールなども追従。キュウリやズッキーニがすごい勢いで実を付けています。

8月
キバナコスモスが咲き出す頃には、ヒマワリも。ミツバチにとって花の少ないといわれる夏、ガーデンにはハーブ類の花もいっぱい。

10月
秋を迎え、畑も来春に向けて、本格的な種まきと苗の植えつけ時期に突入。次々と持ち込まれる苗と種子に、膨らむ期待！

富士見高校養蜂部 文部大臣賞受賞 おめでとう！

NPO みつばち百花の連携団体の一つ、長野県富士見高校養蜂部は、第63回日本学校農業クラブ全国大会において、「二ホンミツバチで笑顔広がるまちづくり～私達とミツバチの新たな挑戦～」と題したプレゼンテーションで見事、最優秀賞（文部科学大臣賞）を受賞しました。創部3年での快挙、本当におめでとう！

ミツバチでの町づくり活動で評価されたことは、連携して活動する私たちにとても大きな喜びです。実は、三鷹のガーデンを訪ねて下さったことが連携のきっかけ。養蜂部の皆さんが企画した、一般向けのミツバチガーデン講座には、私達も参画しました。これからもガーデン交流は続きます。

三鷹のガーデンで富士見高校養蜂部の皆さんと（2010年）



ルッコラは蜜源・花粉源として普通といわれていますが、ガーデンでは高頻度に訪花。



ポリジは蜜源としてガーデンでの訪花はとても盛ん。他のハーブ同様、ミツバチのお気に入り。

蜜源・花粉源植物データベース、公開中！

種子や苗の入手が容易な草花を中心に、蜜源・花粉源として利用できる植物について、現在、約300種の情報を収録・公開しています。植えつけ時期、開花時期、ガーデンでのミツバチの訪花状況なども記載しています。

くにたち蜜源ガーデンでは、さまざまな植物を植え、ミツバチの訪花を検証し、利用性を確認した上で、データベースに追加し、またブログでも情報を発信しています。ぜひ、ご覧ください。

花を増やそう！ 蜜源 / 花粉源データベース

- 蜜源・花粉源植物データベース <http://db.bee-happy.jp/>
- みつばち百花ブログ <http://bee-happy.seesaa.net/>
- 日々の花とミツバチ情報 <https://www.facebook.com/beehappy100>